

水島協同病院

シリーズ倉敷探訪～呼松を歩く～

# 心落ち着く呼松港

診療部 里見和彦



港西側から呼松のまちを臨む



旧中田酒造の煙突がみえます

呼松はかつて船で往来する商業のまち、漁業のまちでもありました。呼松港に行ってみるとたくさんのボートが繋がれていて綺麗ですが、いま漁業を生業にしているひとはいません。港に沿ってグリーンベルトが続き、格好の散歩コースです。私の知人は愛犬とときどきここを散歩するといいます。私はバス通りのひとつ中にはいった通りが好きです。古い町並みが懐かしく、心が落ち着きます。今は使われていませんが、昭和10年代に建てられたモダンな旧呼松郵便局の建物や「歓びの泉」という銘柄の名を煙突に記した旧中田酒造などの建物が目を引きます。国道430号線を越えて山側を上る（共同井戸跡の先に道路をくぐる小径があります）と八幡神社、安楽院などがあり、地域の信仰とまちの祭りや行事の中心になっています。呼松水門から港の西側に長い堤防が続き、その上を歩くと港とまちの姿を一望できます。

水島協同病院は差額ベッド料はいただいておりません

歴史ある旧呼松郵便局



寒い季節から4月までの土曜日、三共水産前で朝市があり、昨年私もここで寿司、鯛めし、海鮮丼などを購入して、花見に出かけた思い出があります。

倉敷市ホームページ「くらしき まち歩き さと歩きマップ」水島地区三福学区に掲載されています。こちらのQRコードからご覧いただけます。



水島協同病院

## 1/21 2025年度後期院内医療活動報告会



### 多職種で共有した実践と学び

感想交流で院内コミュニケーションの場にもなっています

1月21日、2025年度後期院内医療活動報告会を開催しました。本報告会は今回より名称を「院内学術運動交流集会」から変更し、より幅広い発表内容を対象に演題を募集しました。当日は、症例報告や医療活動向上への取り組みなど、計8演題が発表されました。「ケアの倫理」カテゴリーからの学びの報告では、ケアの倫理を学ぶ事で、看護実践においてより深いケアの提供が可能となること、またケアを行う側へのケアの重要性について理解を深める機会となりました。各演題の後に

は少人数でのディスカッションが行われ、活発な感想交流が見られました。参加者からは「他部署の取り組みや業務上の工夫を知ることができて良かった」との声が多く寄せられました。業務の振り返りを通して見直しが成果につながり、それが目に見える形で示された点は大変意義深いものでした。今回の発表を通じて多職種間の情報共有が促進され、知識向上につながる貴重な機会となりました。

（学習教育委員会  
高橋博江）

## 一みずきよう 今日の1枚

2026.2.15 当院リハビリ職員が中島支部健康まつりに参加

